

緑化 シラス緑化基盤

シラス緑化基盤とは



- ・シラス粒径を緑化用に調整した基盤です。
- ・保水性に優れており、屋上・駐車場・軌道敷・壁面などの緑化に最適です。
- ・芝生の管理（水やり）は、基盤自体に保水機能があるために通常の水やりに比べ4分の1程度に軽減されます。
- ・右のような効果を期待することができます。

- 景観向上
- 心の安らぎ
- 建築物の保護（超寿命化）
- 省エネ（冷暖房効果のアップ）
- ヒートアイランド現象軽減
- 防火・防熱効果
- 微気象の緩和
- 集客効果（広告効果）

ヒートアイランド現象への対策を考える

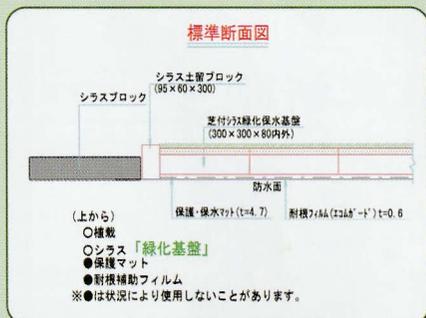
近年、ヒートアイランド現象が、世界の多くの都市で見られるようになりました。

原因としては舗装された都市の道路の太陽熱射、樹木の現象に伴う蒸発潜熱の減少、人口集中によるエネルギー使用量に比例した排熱量の増加等などがあげられます。

これらのことの悪循環で年々都市部の気温が上がり続ける傾向が見られたり、夏に局地的な雷雲が発生し、突発的な激しい雨が降ったりすることが増えてきています。

このようなヒートアイランド現象への対策として、人工排熱の低減を図り、都市部における緑や、水辺の保全が求められています。その対策のひとつとして、建物の屋上や壁面を緑で覆う『屋上緑化・壁面緑化』が注目されています。

シラス緑化基盤による屋上緑化



人に優しく環境に優しい対応が求められる中で、バリアフリー施設、温暖化防止のソーラーパネルの設置等と共にシラス緑化基盤による屋上緑化が行われています。（屋上緑化 地域によっては助成金の対象となります。）

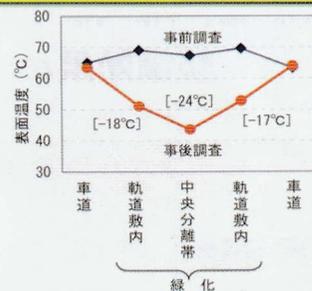
シラス緑化基盤材による屋上緑化の施工後、室内温度が2.7°C下がる事が実証されています。（省エネルギーの推進にも効果があります。）

軌道緑化におけるヒートアイランド現象緩和効果



ヒートアイランド現象の緩和

- 夏、晴天時の地表面の温度は、
- ・緑化した軌道敷内で17~18°C低くなりました。
- ・緑化した中央分離帯で24°C低くなりました。



事前調査：平成18年8月7日15時測定
事後調査：平成19年7月25日15時測定

鹿児島市ではヒートアイランド対策の一環として、2007年度末までに、鹿児島中央駅前から鹿児島駅間の軌道敷の交差点部分を除いた約1700メートルを全面緑化しました。

その結果、地表面の温度が、緑化された中央分離帯で24°C下がった事が実証されています。

また、この緑化された軌道敷について鹿児島市が利用者や市電運転士に意識調査をしたところ、9割以上が『涼しげ』『潤う』『目に優しい』などの好印象を抱いていたとわかりました。